

製品名: インテグリン α E ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12672**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ITGAE
別名	Integrin alpha-E (HML-1 antigen;Integrin alpha-IEL;Mucosal lymphocyte 1 antigen;CD antigen CD103) [Cleaved into: Integrin alpha-E light chain; Integrin alpha-E heavy chain]
遺伝子 ID	3682.0
SwissProt ID	P38570
免疫原	アミノ酸配列範囲 710~770 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

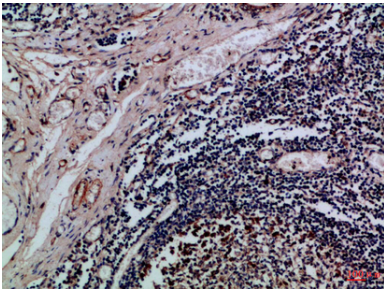
背景インテグリンサブユニット α E (ITGAE) ホモサピエンス インテグリンは、 α 鎖と β 鎖からなるヘテロ二量体の膜貫通タンパク質で

す。この遺伝子は、Iドメインを含むαインテグリンをコードしており、αインテグリンは細胞外ドメインで翻訳後切断を受け、ジスルフィド結合した重鎖と軽鎖を生成します。β7インテグリンと結合して、このタンパク質はヒト粘膜リンパ球-1抗原として知られるEカドヘリン結合インテグリンを形成します。このタンパク質はヒト腸管上皮内リンパ球（IEL）で優先的に発現し、接着における役割に加えて、IEL活性化の補助分子として機能する可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月]、ドメイン：インテグリンIドメイン（挿入）はVWFAドメインです。Iドメインを持つインテグリンはプロテアーゼによる切断を受けない。機能：インテグリンα-E/β-7はEカドヘリンの受容体である。上皮内Tリンパ球の上皮細胞単層への接着を媒介する。誘導：インテグリンα-E/β-7はTGFβ1によって誘導される。類似性：インテグリンα鎖ファミリーに属する。類似性：1つのVWFAドメインを含む。類似性：5つのFG-GAPリピートを含む。サブユニット：αサブユニットとβサブユニットのヘテロ二量体。αサブユニットは、ジスルフィド結合によって連結された重鎖と軽鎖で構成される。α-Eはβ-7と会合する。組織特異性：粘膜上皮細胞間に位置する上皮内リンパ球と呼ばれるTリンパ球のサブクラスに発現する。、

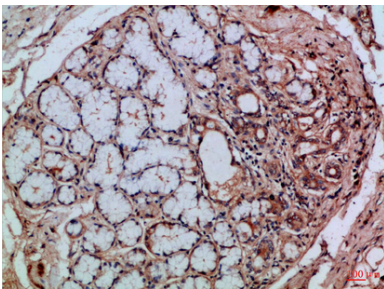
研究分野

アクチンと細胞骨格を調節します。

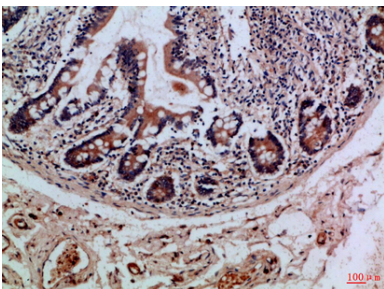
画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は1:100に希釈された



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は1:100に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は1:100に希釈された